

せせらぎ

No.370



2020年5月

滋賀県勤労者山岳連盟 湖南岳友会

目次

- | | |
|-------------------------|-----|
| 1. 表紙とメッセージ | P.1 |
| 2. 私のひとりごと | P.2 |
| 3. 3月例会山行報告 【八ヶ岳連峰 天狗岳】 | P.3 |

今後の予定

新型コロナウイルスによる感染防止のため、定例会議・例会山行は当分の間、中止。

表紙からのメッセージ

この写真は、前年度例会山行の天狗岳で西天狗岳山頂から会長が撮られた一枚です。

このピッケルは山頂到達後偶然私が刺したものです。その背景には今年度の目標の赤岳が写っていて、私自身にとってはとても思い出のある1枚になりました。

コロナの影響で何もかもが、そして自分の命すらどうになってしまうのかわからない状況ですが、しっかり目標を持って前に進みたいです。

Knj





私のひとりごと

春です！山の草木も芽吹き、お花も楽しめる 心躍る季節です。
なのに、今年の春は……。新型コロナの感染拡大によって、テレビもネットも暗く悲しいニュースばかりです。学校は休校、卒業式・入学式も縮小やとりやめ、人生の大きな節目に辛いですね。歓送迎会も行楽も自粛、今までの日常が当たり前でなくなり、明日は自分が感染するかもしれない。いやもうすでに感染しているのかも、そんな不安の毎日です。半年まえは今年がこんな事になっていると誰が想像したでしょう。誰もが2020年は東京オリンピック一色で浮足立った年だと、信じていたのではないのでしょうか。しかし海外ニュースの画像は昔見た「アウトブレイク」や「感染列島」など、フィクション映画の中の出来事ではないか、と思わずにはられません。

私は入会して半年ですが、元々の楽しみは旅行で10年ほど前より国内外の旅行を楽しんでいました。その中で8年ほど前に行った立山の室堂からの眺望は素晴らしく心わしづかみにされました。広大な連峰、眼下に広がる雲海、こんな世界があったのかと、息が止まるほどの感動でした。その時、早朝から出かけて行った登山者の方々は、もっといい景色を求めて行ったのかと思うと、羨ましく居てもたってもいられない気持ちでした。その時の思いが消えず、後3年程して少しずつ山登りを始めました。そして去年、行ってみたかった、立山の雄山に登りました。しかし、あいにくの曇天、頂上では雨も降り出し、10m先何もみえない残念な景色。是非、また来させて下さい、と雄山神社で御祈禱を受けながらお願いしレインウエアに変身しての下山となりました。

まだまだ、これから行きたい国や山は沢山あります。しかし暫く、飛行機やバスでの旅行はお預けです。職場ではライブもイベントも中止でストレス溜まる、という会話を耳にしますが、こんな中でも登山を楽しめる自分は幸せです。

（先日の緊急事態宣言や県内の感染者の増加で、そうも言えなくなってきましたが……）

一日も早い感染の終息、平和な世界、当り前の日常に戻る事を願い、会の活動の再開を待ちたいと思います。



Yuri

八ヶ岳連峰 天狗岳

【山行日】 2020年3月14日（土）～3月15日（日）

M. K

【参加者】 8名

【コースタイム】

3月14日（土） くもり一時雪

2台の車で瀬田駅、草津、守山などで参加者を乗せて名神・黒丸PAに集合、6:50 発＝茅野運動公園 11:00 着、ジャンボタクシーに乗り換え＝渋の湯手前でタクシーが雪で動けなくなり、下車して歩き始める～渋の湯登山口 13:40～2122m 地点 15:00～唐沢鉱泉分岐 15:35～黒百合ヒュッテ（テント場） 16:30

※ 休憩を含めた総行動時間 2:55（昭文社地図のコースタイムの約 1.2 倍）

3月15日（日） 晴れ

黒百合ヒュッテ 5:45 発～中山峠 5:55～東天狗岳 7:25～西天狗岳 8:00 着、8:10 発～東天狗岳 8:45～黒百合ヒュッテ 9:50 着、テント撤収、休憩、11:15 発～唐沢鉱泉分岐 11:40～2122m 地点 12:00～渋の湯登山口 12:45、渋の湯温泉で入浴、バス 14:55 発＝茅野駅 15:50 着、車を取りに行き 16:15 発＝滋賀県に 21 時頃に到着

※ テント撤収、休憩を除いた行動時間 5:35（昭文社地図のコースタイムの約 0.9 倍）

【コースの状況・留意点など】

- 登山口の渋の湯の駐車場が一杯で停められない可能性があり、また、雪道の運転の安全面から、茅野駅の近くで、予約していたジャンボタクシーに乗り換えて渋の湯に向かった（バスも可能）。
- ところが前日に雪が降ったため、途中でジャンボタクシーが坂道を登れなかったり、チェーンを巻いても外れるなどして時間がかかり、結局登山口の少し手前で動けなくなった。そのため、登山口出発は2時間近く遅れた。なお、応援に出た会社の四駆のタクシーも雪で動けなくなり、JAF を呼んだらしい。
- 前日にかなりの積雪があり、テント場付近で 20 cm 程度の新雪。
- 新雪の下は凍結した雪面のところもあり、登山口付近の登りからアイゼンを付け、ほぼ全コースをアイゼンで歩いた。ワカン念のためテント場まで持って行ったが、使わなかった。
- ピッケルは中山峠から上で使用した。中山峠への東天狗直下の下りではバックステップで降りる方が安全なところがあった。過去の天狗岳ではピッケルを使わなくても不安に感じたことがなかったので、今回は雪の状態がいつもより悪かったようだ。堅い雪面に新雪が積もったことの影響か。
- 気温は明け方でマイナス 15℃ 程度か。風はあまりなく、冬の八ヶ岳としてはそれほど厳しい気象ではなかったと思う。
- このような冬山でのテント泊の未経験者もあったので、小屋泊（3人）とテント泊に分かれた。朝食はテントで一緒に食べた。

【装備・食料】

共同装備：8人用テント一式（本体、フライ、ポール、ペグ、テントマット、内張（時間がなく、使用しなかった）、コッフェル（岳友会のコッフェル大（縦短）の3個組のうち、小さいもの2個）、ガスヘッド2（岳友会のホース付き）、ガス中2個（1.5個分使用）、ベニヤ板（2）、

たわし、スコップ(1) (以上、テント組のみ)、ツェルト(2)、ロープ(7mm×10m)、
救急セット (一人平均 テント組 2.1kg、小屋組 0.3kg程度)

個人装備：シュラフ、(シュラフカバー)、マット (以上、テント組のみ)、ピッケル、(ストック)、
アイゼン、ワカン(使用せず)、サングラス・ゴーグル、防寒具、その他通常の冬山装備

【食糧】

お湯を沸かす程度でできるものを各自が用意した

【費用】

ガソリン代 黒丸 SA～茅野運動公園 300m×2台×往復×30円=36,000円

高速代 4,730円×往復+4,630円×往復=18,720円

往路タクシー代(茅野～渋の湯) 12,000円

復路バス代(渋の湯～茅野駅) 1,200円×8人=9,600円

タクシー代(茅野駅～駐車場) 840円

合計(テント代、小屋代除く) 77,160円 一人当たり約 9,650円

【感想】

(Yさん)

タクシートラブルからはじまり、歩けなくなり皆さんに荷物を持っていただき。翌日もなかなか順応出来ず、フラフラしながらも、天狗岳に登ることができ、素晴らしい景色を見ることができました。一緒に登っていただいた皆さんに感謝です。最後にトイレにスマホを落とすオチまで。最初から最後までご迷惑をかけてしまいました。

(Mさん)

冬山に行きたいと思い湖南岳友会に入会しましたが、今回初めて本格的な冬山登山の機会をいただきました。堂山でのアイゼン練習、比良・釣瓶岳の雪中山行など、事前の訓練も含めて準備いただき、大変ありがとうございました。

行きがけの交通トラブルはあったものの、新雪のなかの山行は天候に恵まれ、天狗岳を眺望も360度、見事に晴れ渡って見えたのは何よりでした。

私は冬山でのテント泊も初めてでしたが、テント設営はもとより雪からの飲料水確保やテント内での立ち振る舞いなど、経験して初めて知ることができました。また天狗岳登頂では酷寒のなか手指が冷えて、かなりの痛みを味わいましたが、これもまた実際に体験し、身体で学ぶことができたように思います。また次の冬山山行に向けて、いろいろな対処を学び準備していきたいと思います。

(KOさん)

「本格的な雪山に登るのは二年ぶりです。天狗岳は雪山初心者向けと聞いていたので、トレーニング無しで参加しましたが、やはりトレーニングは必要だと思いました。アイゼン歩行やピッケルの使い方が初心者に戻ったように感じ、頼りなかったです。

また、今までさほどゴーグルの必要性を感じなかったのですが、今回は目出帽でサングラスがくもり、少し足元がはっきり見えない時がありました。ゴーグルかサングラスかどちらか一方ならゴーグルという意味が身をもってわかりました。ハケ岳は風が体感温度をかなり下げます。目出帽の口元と鼻が凍り、初心者向けの山でも決して侮ってはいけないと思いました。

(KIさん)

初めての雪山。寒さの感じ方は人によって違うとのことだったので、自分がどこまで耐えられるか不安を感じていました。結果、何とか今回の装備で耐えられましたが、1日目の昼の暖かさと、2日目の朝、風が強く吹く中での寒さも全く違うものだったので、次回は昼の1.5倍増くらいの装備をすることが必要だと感じました。

黒百合ヒュッテでのホットワインも、雪山の絶景もとても素晴らしかったです。皆様ありがとうございました。

(Gさん)

初めての冬のアルプス。やはり実際に体験してみないとわからないことが多々あるということを知りました。例えばゴーグルではなく、サングラスでもなんとかなると思っていましたが、吐く息で曇り、それが凍ってほとんど見えなくなって難儀しました。ストックが凍って折り畳めなくなったり、スマホを取り出した途端、バッテリー残量が急減したり・・・。

そして積もった雪に足やストックを置いた時に、何度もバランスを崩してふらつき、体幹がしっかりしていないと安全に歩けないことを実感しました。



日の出前に樹林帯を抜ける



中山峠でちょうど日の出



東天狗岳の最後の登り



西天狗に向かう



西天狗岳頂上



再び東天狗岳に向かう